

やまがた ゆきみらい通信

～雪と生きる 雪を活かす～

第6号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構
〒995-0024 村山市榎岡笛田 4-5-1
TEL:0237-47-8614 Fax :0237-55-5236
E-mail ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

「雪の市民会議」★やまがた「尾花沢」特集

尾花沢市で

「雪の市民会議」開催

七月四日に尾花沢市文化体育施設を会場に第三回「雪の市民会議」が開催され、県内外から約百八十名が参加した。

開会行事の後、山形大学大学院理工学研究所の横山孝男教授が「利雪への取り組みの現状と展望」と題して講演し、雪山を活用した尾花沢市役所の雪冷房や、住宅の屋根雪を利用した雪室などの事例を紹介した。



開会行事で挨拶する星川実行委員長



講演する横山教授

続いて「環境(雪)と観光の未来を考える」をテーマに、長岡技術科学大学の 上村靖司准教授をコーディネーターに四名のパネリストによるディスカッションが行われた。

除雪ロボット

トの開発で夢のような世界が開ける事や銀山温泉を訪れる県外客の心温まる話など、多岐にわた



上村氏



パネルディスカッションの様子

たったが、「山形ならではの」のよさに気づく大切さが語られた。午後からは、室蘭工業大学の媚山政良教授が「環境サミットと利雪の融和」と題して基調講演を行い、雪の冷熱エネルギー

講演する媚山教授



を利用してしている事例や雪一トンで石油十リットルの節約、二酸化炭素三十キログラムの抑制につながり、省エネルギーだけでなく環境保全効果も大きいことなどが紹介された。

この後、雪室施設の見学会が行われ、村山市のJAみちのく

本州最大の
蔵できる
貯蔵量
5万9千俵
の雪室 (JAみちのく)



村山の零温雪室貯蔵施設、尾花沢市の雪山による簡便冷房シス

テム、大石田町の次年子雪蔵、舟形町の新雪国エコ環境住宅の四力所を回った。

夕方からの意見交換会には「雪のクーラーボックス」まで登場し、雪国の暮らし向上について活発な意見交換をする参加者たちに、心地よい清涼感を与えていた。



お知らせコーナー (締め切り間近!)

やまがたゆきみらい推進機構 雪サロンの開催

1. 時 期 平成20年 7月23日(水) 午後3時から午後4時30分
2. 場 所 村山総合支庁 北庁舎 204会議室
村山市楯岡笛田4丁目5-1 電話:0237-47-8614
3. 内 容
 - (1) 会員スピーチ
「山形県における雪国仕様住宅への取り組み」
講師: 株式会社ウンノハウス
商品開発研究所担当取締役部長 樋口 金一郎 氏
 - (2) 結果報告
 - ◇ 北村山地域 雪対策アンケート調査の結果について
村山総合支庁北村山総務課 雪プロジェクト推進主査 小松 健
 - ◇ 融雪槽実証試験の結果について
村山総合支庁北村山総務課 雪プロジェクト推進専門員 西塚 祐司
4. 意見交換 参加者の皆さんとフリートーク
5. その他
参加を希望する方は平成 20 年 7 月 15 日(火)まで事務局あてにお申し込みください。

真夏の雪体験バスツアーの開催

真夏の暑い時期に雪に触れてみませんか。

「雪を活かし、雪に親しむ」ことを楽しみながら学びます。

1. 時 期 平成20年 8月7日(木) 午前9時から午後4時15分
2. 集合場所 村山総合支庁本庁舎 1階ロビー 午前 8 時 45 分 午前 9 時出発
村山総合支庁北庁舎 1階ロビー 午前 9 時 45 分 午前 10 時出発
3. 行 程
 - (1) (独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄支所
◇ 昼食 山形県立農業大学校
 - (2) 最上総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室「雪むろ(もがみゆきっこ)」
◇ 休憩 道の駅尾花沢 花笠の里ねまる
 - (3) 尾花沢市役所「雪山による簡便冷房システム実証試験」
4. 募集人数 定員 40 名
5. 参加費 無料(ただし、昼食代として 1 人当 500 円負担いただきます)
6. 申込み方法 参加を希望する方は平成 20 年 7 月 18 日(金)まで事務局あてにお申し込みください。
7. そ の 他 小学生以下の場合は、必ず保護者同伴でお願いします。
当日はトレーナーなどの防寒具を持参してください。